

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2026年6月30日
【会社名】	株式会社カヤック
【英訳名】	KAYAC Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役CEO 柳澤 大輔
【本店の所在の場所】	神奈川県鎌倉市御成町11番8号
【電話番号】	0467-61-3399
【事務連絡者氏名】	管理本部長 丹治 拓未
【最寄りの連絡場所】	神奈川県鎌倉市御成町11番8号
【電話番号】	0467-61-3399
【事務連絡者氏名】	管理本部長 丹治 拓未
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社は、2026年6月30日開催の取締役会において、株式会社ブレインサービスの株式を取得し、子会社化することを決議いたしました。これに伴い、同社の子会社である「株式会社ブレイン」及び「株式会社三修社」並びにその他5社が新たに当社の孫会社となります。

当該子会社取得に係る対価の額は、当社の最近事業年度の末日における純資産額の100分の15以上に相当するため、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第8号の2の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

(なお、その他の孫会社5社につきましては、金額的影響が軽微であるため、本報告書における個別情報の記載対象外としております。)

2【報告内容】

1.子会社取得の決定(企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第8号の2に基づく報告内容)

(1)取得対象子会社の概要

株式会社ブレインサービス

()商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

商号	株式会社ブレインサービス
本店の所在地	東京都渋谷区神宮前2-2-22
代表者の氏名	前田 俊秀
資本金の額	40,000千円
純資産の額	504,394千円
総資産の額	520,703千円
事業の内容	ホールディングス事業

()最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び純利益

	2023年5月期	2024年5月期	2025年5月期
売上高	202,750千円	174,007千円	175,643千円
営業利益	30,397千円	13,041千円	20,309千円
経常利益	32,726千円	19,397千円	21,004千円
当期純利益	31,345千円	18,724千円	20,331千円

()当社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

資本関係、人的関係、取引関係において該当事項はございません。

株式会社ブレイン

()商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

商号	株式会社ブレイン
本店の所在地	東京都渋谷区神宮前2-2-22
代表者の氏名	前田 俊秀
資本金の額	10,000千円
純資産の額	396,505千円
総資産の額	1,096,789千円
事業の内容	WEB・システム・イベント等の企画・開発・運営 国際交流事業(日本と海外をつなぐ事業)

()最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び純利益

	2023年5月期	2024年5月期	2025年5月期
売上高	2,318,919千円	2,517,863千円	1,830,369千円
営業利益	10,384千円	22,297千円	74,800千円
経常利益	22,812千円	61,772千円	24,504千円
当期純利益	23,726千円	39,877千円	6,905千円

()当社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

資本関係、人的関係、取引関係において該当事項はございません。

株式会社三修社

()商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

商号	株式会社三修社
本店の所在地	東京都渋谷区神宮前2-2-22
代表者の氏名	前田 俊秀
資本金の額	10,000千円
純資産の額	352,156千円
総資産の額	754,400千円
事業の内容	出版事業

()最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び純利益

	2023年5月期	2024年5月期	2025年5月期
売上高	992,995千円	999,091千円	994,712千円
営業利益	49,052千円	22,675千円	62,613千円
経常利益	48,464千円	21,542千円	61,495千円
当期純利益	10,908千円	12,871千円	41,278千円

()当社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

資本関係、人的関係、取引関係において該当事項はございません。

(2)取得対象子会社に関する子会社取得の目的

当社は、創業以来「つくる人を増やす」という経営理念のもと、クリエイター人材を核に、デジタル技術とアイデアを掛け合わせた新しい体験の提供に取り組んでまいりました。ゲームアプリや広告・Webサイト制作、コミュニティ通貨、移住・関係人口促進など幅広い事業領域を展開するとともに、近年は地域に根ざした事業開発にも注力しております。また、M&Aによるグループ編成の強化を中期的な成長戦略の一つとして位置づけ、現在連結20社からなる面白法人グループのさらなる拡充を推進しております。

本件で新たにグループに迎える株式会社ブレインサービス(以下「ブレインサービス」)は、観光・インバウンド領域を主力とする株式会社ブレイン(以下「ブレイン」)、語学出版社である株式会社三修社(以下「三修社」)をはじめとする国内外7社・総勢200名以上からなる事業体です。ブレインサービスグループを子会社化する目的は、当社が注力したいテーマである「日本を訪れ、学ぶ人々と日本をつなぐ」という分野において、ブレイン及び三修社がそれぞれ確かな資産と実績を有していることにあります。

ブレインは、JNTO・観光庁・内閣官房など公共性の高い大型案件を長年手がけてきた実績を持ち、インバウンド・観光領域のデジタル化に強みを有する制作会社です。当社グループの企画力・地域事業とブレインの実行力を掛け合わせることで、インバウンドDXサービスの拡大、及び北海道拠点のグループ会社である株式会社カヤックメガとの連携による地域インバウンド促進施策の全国展開を目指してまいります。

三修社は、50言語対応・CEFR準拠の辞書・教材を擁する老舗語学出版社であり、国際交流基金との共同教材「まごごと」は世界19,344機関で採用されております。近年は日本語学習需要の高まりを背景にコンテンツが伸長して

おり、当社グループの企画力・デジタル開発力と組み合わせることで、日本を訪れる人・日本で暮らし働く人に向けた日本語学習支援事業へとさらに展開してまいります。

訪日者数が過去最高水準で推移する一方、日本国内で生活・就労する人も増加の一途をたどっており、日本に関わるニーズは多様化・拡大しております。当社は、ブレインサービスグループの参画により、「人を呼ぶ」インバウンドDXと「人が馴染む」日本語学習支援という2つの事業を軸に、面白法人グループの新たな成長を本格的に推進してまいります。

(3)取得対象子会社に関する子会社取得の対価の額

株式会社ブレインサービスの普通株式	1,314,390千円
アドバイザー費用等	5,000千円
合計	1,319,390千円

(注)取得価額につきましては、当社が算定した株式価値の算定レンジ内において両社協議のうえ決定しております。